



平成29年3月28日

各位

会 社 名 オンコリスバイオフーマ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 浦田 泰生
(コード番号:4588)

問 合 せ 先 常 務 取 締 役 六 反 田 靖
経 営 管 理 担 当
(TEL.03-5472-1578)

次世代テロメライシンに関する共同研究契約締結のお知らせ

当社は、国立大学法人大阪大学と共同研究契約を締結し、水口裕之教授(大阪大学大学院薬学研究科 分子生物学分野)の研究グループと、次世代テロメライシン[®]および次世代テロメスキャンの設計・作製を目的とした共同研究を開始することを決議しましたのでお知らせいたします。

現在、当社は肝細胞がんやメラノーマを対象にしたテロメライシン[®](OBP-301)の臨床試験に加えて、放射線を併用した食道がんPhase I 臨床試験や他の治療法を併用した医師主導治験の開始準備を進めています。これら現世代テロメライシン[®]の各種研究や臨床試験を通じて、当社はこれまでに、「遠隔効果」「放射線や免疫チェックポイント阻害剤との併用効果」および「がん特異的な免疫応答」などの特徴を確認しています。

当社はこれまでもOBP-702やOBP-405などの武装テロメライシン[®](armed Telomelysin[®])に取り組んでおりますが、今回大阪大学と新たに開発着手する次世代のテロメライシン[®]では、現在までに確認されたこれらの特徴に加え、更なる免疫増強や簡易な投与の実現を目指します。特に、がん細胞に標的分子を発現させる遺伝子を組み込んだ武装テロメライシン[®]では、併用するがん抗体の力価増強を図るとともに、増殖によるがん細胞融解から、抗がん作用の増強誘導を目指します。また、現世代テロメライシン[®]にクラゲの発光遺伝子を組み入れ、血中循環がん細胞(CTC)検出への応用を目指し研究開発を続けているテロメスキャン[®](OBP-401/1101)においては、次世代版で更なる高感度を実現させ、いち早い世界展開を目指してまいります。

なお、本件による平成29年12月期業績への影響はございません。

以 上